

事務事業名 障害児保育事業

出力日：令和04年03月15日

キーコード：306

施策：	17	子育て支援の推進	財務コード	01030205-10-00
基本事業：	04	幼保サービスの充実	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	待機児童数（保育所） 待機児童数（放課後児童クラブ） 保育サービスの満足度		担当課	保育児童課
			担当係	保育児童担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
私立保育所に入所の障がいを持つ児童に対して加配保育士を配置した保育所に、加配保育士の人件費の一部を補助するもの。		私立保育所において、障がいを持つ児童を受け入れ障がい児保育を推進する。（担当保育士の配置） 筑紫野市障害児保育事業費補助金交付要綱第2条に規定する児童の場合 7200円×21日×在籍月数を補助 軽度の発達障害等の場合 7200円×21日×在籍月数×1/2を補助 保育士の配置は、児童の状況にあわせて、1：1、2：1で行う。				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
障がい児保育の推進を図り、保育サービスの充実を図る。						

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	01年度実績	02年度実績	03年度当初	04年度要求	05年度計画	06年度計画	目標
配置した保育士数	人	6	6	10	10			
通所することができる障がい児数	人	6	6	10	10			
5. コスト								
事業費	計	千円	8,551	10,300	18,144	18,144		
	国	千円	0	0	0	0		
	県	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他一般	千円	0	0	0	0		
正職員人工数	人工	0.2	0.2	0.2				
正職員人件費	千円	1,613	1,606	1,584				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	10,164	11,906	19,728	18,144			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）	
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	加配保育士を必要とする障がいのある児童の入所を受け入れ、障がい児保育の推進に寄与しています。

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）			
対象動向	維持	類似事業	なし
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし
成果向上余地	大きい		

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）	改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）					

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）	備考・特記事項 or 進行管理欄
障がいを持つ就学前児童は、小都市のこぐま学園など療育施設等に通所している場合もあるが、保育時間が短時間で、保護者にも肉体的精神的負担が多いのが現状である。また居住地近くの保育所への入所希望が増えてきている。	補助の基準としている市臨時保育士の賃金改定にあわせ、平成30年度から補助単価の見直しを行った。 7,200円×21日×在籍月数（×1/2）